



《面位》2026年

視線を誘う

宮下圭介
探究の軌跡

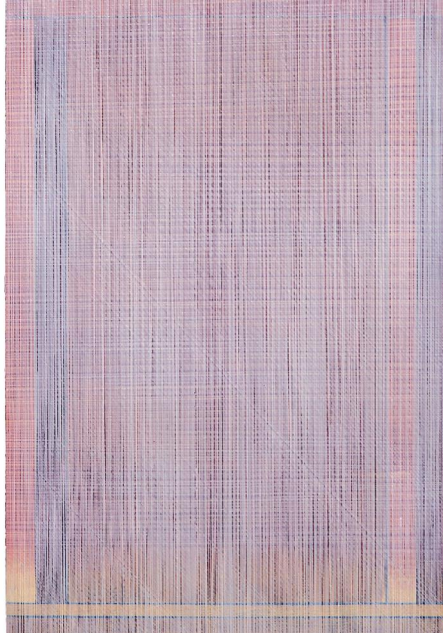
主催／会場 アンフォルメル中川村美術館

10.10_{sat} - 11.03_{tue}

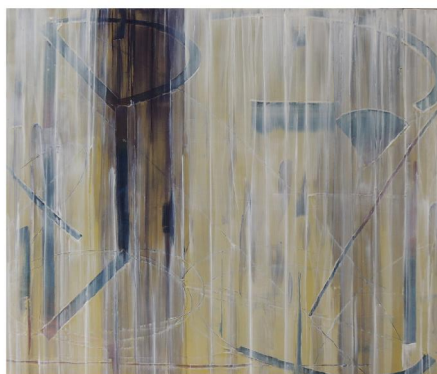
火・水曜日は休館 ※11月3日(火・祝)は開館

開館時間：10:00-17:00(入館受付は16:30まで)

入館料：大人500円 高校生以下は無料



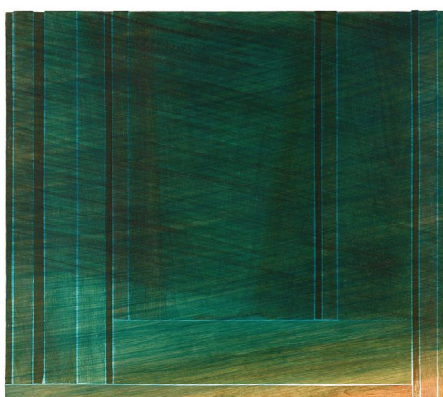
《Veil VI-4》2000年



《Under White 4-4》2004年



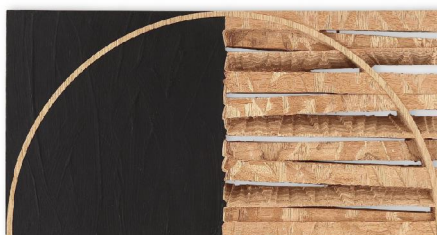
《sign on sign 12-18》2012年



《Veil II-7》1996年



《sign on sign 10-7》2010年



《内接半円 91N(L)-23》1991年



《内接半円》1989年

視線を誘う

宮下圭介 探究の軌跡

宮下圭介は初め具象彫刻を手がけるが、その後現代の表現に交わり、既成の素材の使用やさまざまな技法と展示方法によって表現を広げた。薄いアルミ板に手を加え、皮膚のような面を提示。やがて合板を貼り合わせ、削り込み、薄く色を重ねて、基底の板の積層を露わにし、絵の具の透層を視覚化する。キャンバスに移ると、いくつもの面が重なり、ドローイングの描線が最上面を形成する。視る者の視線を奥へと導いて、図像を求める視線がかわされ、積層する面を貫いた視覚が行き来して知覚が揺さぶられる。平面性を保つ絵画ゆえ、彫刻制作に比較し、作家の身体性が視る者に伝わりにくいものの、宮下の絵画の奥行は身体性と触覚性を映し、平面と立体を往還して、彫刻的でさえある。今展では、宮下の絶え間ない追求の軌跡と、飽くなき探究の現在地を紹介。



宮下 圭介(みやした・けいすけ)

1944年 長野県生まれ。68年 信州大学教育学部美術科卒業。上京し、72年 現代美術のゼミナール[Bゼミ]修了、Bゼミ展出演。75〜77年「点展」に参加。86年 安曇野現代彫刻展IN穂高、91年〜 眼の座標に出演。99年 さまざまな眼105 飯室哲也・宮下圭介二人展。14年 沼津市庄司美術館特別展 宮下圭介—透視する眼差し—。09年 日米国際作家交流展、14年〜 九条美術展、15年〜 小田原ピエンナーレ、16年 日伊国際作家交流展に出演。また、東京、神奈川、山梨、静岡、京都等でグループ展出演多数、個展多数開催し、発表を続けている。14年 作品集「宮下圭介 透視するまなざし 1970-2013」発刊。

アーティストトーク

10月11日(日) 13:30〜 本館展示室

ご参加には入館料が必要です(高校生以下無料) 申し込み不要



主催/会場

アンフォルメル中川村美術館 愛称“あんびい”

自動車：中央道駒ヶ岳スマートICから25分 中央道駒ヶ根ICから30分 中央道松川ICから25分

電 車：JR飯田線飯島駅下車 タクシー20分 JR飯田線伊那大島駅下車 タクシー25分

〒399-3801 長野県上伊那郡中川村大草2124番地 TEL.0265-88-2680

E-mail:museuminf@cek.ne.jp <https://www.informelmuseum.com>



アクセス